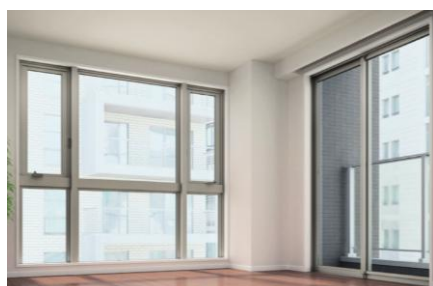
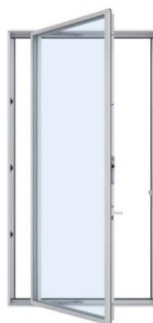




YKK AP 株式会社
YKK AP Inc.

アルミ形材「Re・AL」 aluminum profiles 「Re・AL」

アルミ窓



アルミカーテンウォール



ガラス、部品（ハンドル、クレセント、戸車等）を除く

登録番号
SuMPO-EPD-2608-237-1

検証合格日
2026/8/31

公開日
2026/9/17

検証有効期間
2031/8/30

EPDタイプ
グループ製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格
ISO21930:2007

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。
EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。
<https://ecoleaf-label.jp/epd/search>

●基本情報

> プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	https://ecoleaf-label.jp

> GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.2.0
PCR名称	窓・サッシ
PCR登録番号	PA-212300-AD-05
PCR認定日	2023/5/10
レビューパネル委員長（所属）	神崎 昌之（一般社団法人 サステナブル経営推進機構）
PCR有効期限	2028/5/9
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

> 検証情報

検証の種類	ISO14025及びISO21930:2007に従った第三者検証		
	☐ 内部	☒ 外部	
	☒ 検証員による 第三者検証	☐ 検証機関による 第三者検証	☐ EPDシステム認証 による第三者検証
検証機関（検証実施者）	河村 渉		

> 準拠規格

準拠規格	☒ ISO14040:2006	☒ ISO14044:2006	☐ ISO14067:2018
	☒ ISO14025:2006	☒ ISO21930:2007	☐ ISO21930:2017
	☐ EN15804+A2	☐ EN50693:2019	☐ ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のライフサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDの比較可能性は、機能単位を適用しているものに限定されます。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名（日・英）	Y K K A P 株式会社サステナビリティ統括部
住所	〒938-8610 富山県黒部市吉田200 Y K K A P 30ビル
問い合わせ先	kankyo@ykkap.co.jp
LCA算定実施者（所属）	Y K K A P 株式会社 サステナビリティ統括部 川原康知
事業者概要	Y K K A P は、窓やドア、カーテンウォール、エクステリア商品をはじめとしたArchitectural Products（建築用工業製品）を通して、社会を幸せにすることをパーパスに掲げ、事業を展開しています。

●製品情報

製品名称（日・英）		アルミ型材「Re・AL」 ・ aluminum profiles「Re・AL」	
製品の型式		アルミ型材（中間財）	
製品仕様	製品機能	アルミ型材	
	製品質量	1kg	換算係数 ー
	製品の用途	建材及び建設製品のアルミ商品（住宅用・ビル用サッシ、カーテンウォール、エクステリア製品等）	
	技術性能	A6063及び6000系に準拠したアルミ押出型材	
RSL(基準 使用年数)	年数	30年	
	使用条件	住宅用やビル用のサッシやカーテンウォール、エクステリア製品等	
	年数を設定した根拠	PCR：窓・サッシ（PA-212300-AD-05）	
製造サイト（製造拠点）		東北製造所、黒部製造所、四国製造所、九州製造所	
製品概要		建材及び建設製品のアルミ商品（住宅用・ビル用サッシ、カーテンウォール、エクステリア製品等）	
製品ウェブサイト		https://www.ykkap.co.jp/business/building/	

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量	
アルミニウム	98.4	0.98	kg
マグネシウム	0.9	0.01	kg
ケイ素	0.6	0.01	kg
ニッケル	0.1	0.00	kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量	
段ボール	85.7	0.05	kg
プラ系包装資材	14.3	0.01	kg

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO ₂ eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	ー	ー
提供先にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	0.02	0.08

●LCA 関連情報

> EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	☐ 単一製品	☒ グループ製品	☐ 業界製品
	サイトタイプ	☐ 単一サイト	☒ 複数サイト	
地理的範囲		日本国内		
複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける 代表性の説明		【A3-1～5】全てのアルミ型材製造拠点から収集したデータを算定し、その加重平均値を開示している。		
複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける、算定結果の 上下幅に関する説明		アルミ型材として全製造拠点の活動量を合計し、全生産重量で割った数値として算定している。原材料の「アルミ新地金」が環境負荷の大半で、サイト間の上下幅はわずかである。		
複数製品EPDの説明		〔範囲〕 住宅・ビル建築用アルミ型材（ビル用窓・カーテンウォール、住宅用窓・エクステリア製品）		

> LCA関連情報

宣言単位		アルミ型材重量		
宣言単位当たりの質量 (質量への換算係数)		1kg		
基準フロー（機能単位を満たすために 必要な製品数）		—		
システム境界		☒ Cradle-to Gate	☐ Cradle-to-Gate with options	☐ Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア		MiLCA v1.2.2.0		
LCIデータベース		AIST-IDEA v3.4		
特性化モデル		気候変動：IPCC第6次評価報告書(IPCC,2021年)、その他の影響領域：LIME2		
その他のバックグラウンドデータ		グリーン地金については 供給元の1次データを使用		
二次データ品質		GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。		
一次データ収集拠点		※1) 東北製造所、黒部製造所、四国製造所、九州製造所 ※2) アルプラス社（ブラジル）		
一次データ収集期間		※1) 2025/4/1～2026/3/31 ※2)2024/1/1～2024/12/31		
生物由来炭素の取り扱い		☐ 0/0アプローチ	☒ -1/+1アプローチ	
電力契約に 関する情報	使用有無	☒ 国や地域の平均的な電力ミックス		☐ その他
	種類	—		
	購入日	—		
	発行元	—		

> 算定対象段階

資材製造段階			施行段階		使用段階							解体段階				境界外
					資材関連					光熱水関連						
A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用	維持保全	修繕	更新	改修	エネルギー消費	水使用	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理	潜在的な負荷と便益
■	■	■	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

■：算定対象 —：算定対象外

> アロケーション

本算定では、GPIに記載の手順でプロセスの細分化およびアロケーションを検討した。アルミ型材製造プロセスにおいては全て同一であるが、製品により押出材の断面形状が異なるので、物理量アロケーションを行った。

> カットオフ

以下は製品重量比1%未満で、その合計1.941%となり、PCRのカットオフ基準5%に基づきカットオフ対象とした。

〔副資材〕 洗浄剤、ひまし油、アルゴン、アンモニア、ホウ酸：製品重量比0.319%。

〔包装資材〕 プラ系の包装資材：製品重量比0.819%。

〔廃棄物〕 廃油、廃酸、廃アルカリ：製品重量比0.27%

〔廃棄物輸送〕 耐火物、フィルターダスト等：製品重量比0.52%

〔フッ化物〕 製品重量比0.013%

> システム境界

GPIおよびPCR「5.製品システム（データの収集範囲）」に基づき、中間財のため、製造段階（A1（原材料の調達）～A2（工場への輸送）～A3（生産段階））をシステム対象とした。

A4～Dはシステム境界外としている。

時間的システム境界は100年である。

> シナリオ

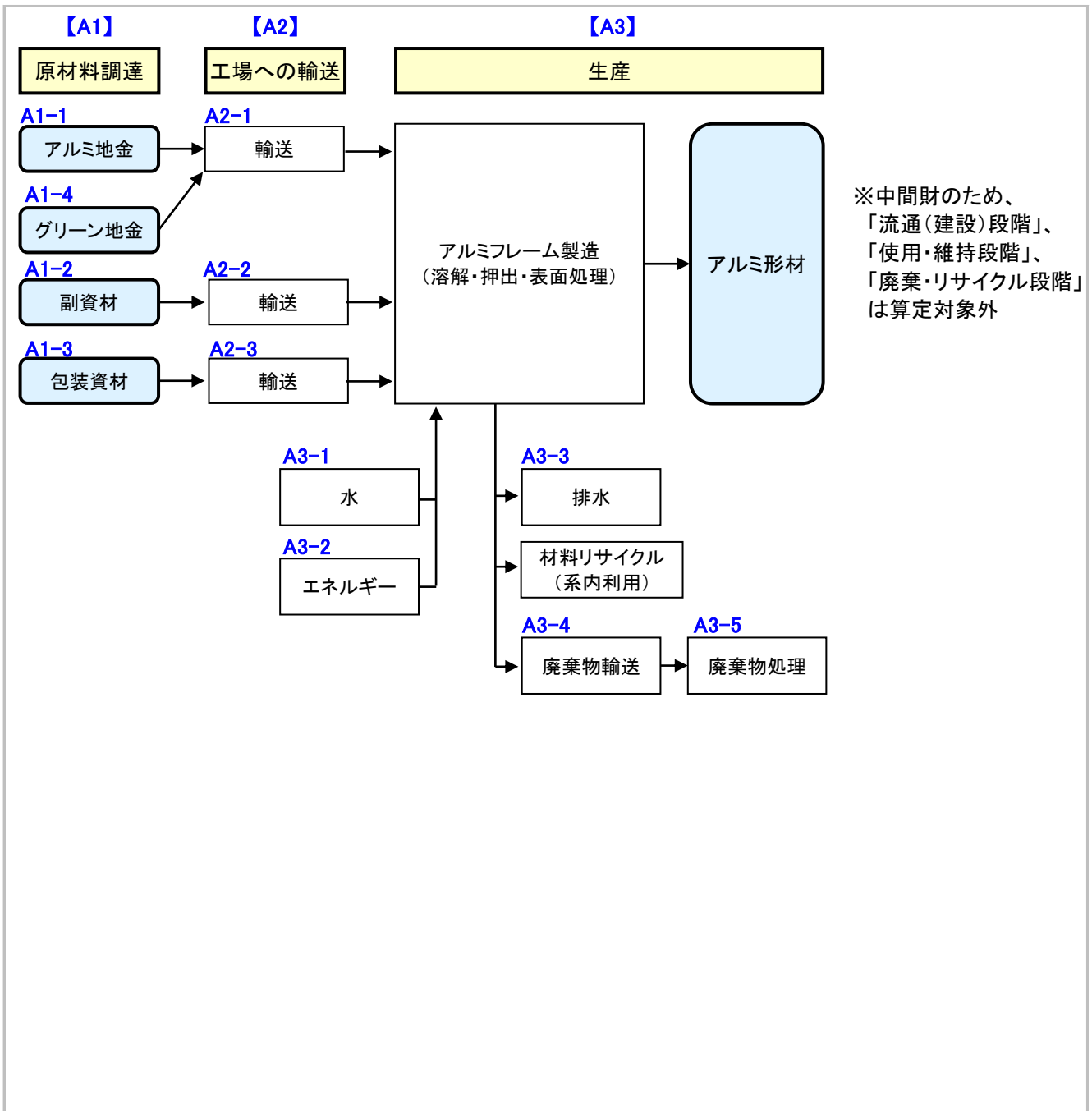
モジュール	説明
A2	原材料・副資材・包装資材における輸送の輸送距離はPCRのシナリオを使用した。
A3	廃棄物の輸送における輸送距離はPCRのシナリオを使用した。

> 電力モデリング

対象とするライフサイクル段階において、2021年における日本平均のデータを用いて算定を行った。

一部のアルミ地金はバックグラウンドプロセスとし、グローバルにおける水力発電由来のデータを用いて算定を行った。

> ライフサイクルフロー図



[illegible][illegible][illegible][illegible]

> 出力フローに関する環境情報

[illegible]

Environmental Product Declaration for aluminum profiles 「Re・AL」

> LCA算定結果に関する説明

中間財としての申請のため、PCRに基づき、製造段階（原料調達・原料輸送・生産）を対象。
輸送はアルミ地金の調達に係る輸送のみ 1 次データを使用。それ以外はPCRシナリオに基づく。
アルミ型材製造の全拠点に係る1次データ（原材料、副資材、エネルギー、燃料、廃棄物など）を合算し、全生産重量で割って加重平均値として算出した。

●追加環境情報

> LCAに関連しない追加環境情報

YKK APとしてISO14001統合認証取得

> 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
硫酸ニッケル	7786-81-4	化審法（優先評価化学物質）副資材として使用

建材および建設製品からの危険物質の放出

アルミ型材からの危険物質の放出はない

●用語の定義

—

●参考文献

- ・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
- ・ISO21930:2007 Sustainability in building construction — Environmental declaration of building products

●改訂履歴

—